

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立福小学校

令和8年4月

大阪市立福小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校の児童は、素直で明るく、学年を越えて仲良く交流することができる。しかし、時には感情を言葉でうまく表現できなかつたり、集団に入りづらかつたり、友達の気持ちを考えずに行動してしまつたりする児童もいる。そのため、どの児童も安心して活動できる心の居場所としてのたてわり班を中心に据えた「学校集団作り」に継続して取り組んでいる。そして、子どもたちの自尊感情・自己有用感を高めることができる取り組みを工夫し、お互いのよいところを認め合い仲間を信頼できることを目指している。

学力面では、令和7年度「全国学力・学習状況調査」において、国語科は対大阪市の平均正答率が2ポイント、算数科は5ポイント下回った。

本校においては、国語科と算数科の学力の向上が課題であるとする。国語科の課題は、思考力、判断力、表現力等にあたる「書くこと」である。そのためには、対話を通して自分の考えや意見を深め、読解力の向上に力を入れる必要がある。また、算数科では特に「図形」の領域で課題がみられた。基本的な図形や空間の概念について理解し、図形についての豊かな感覚の育成を図るとともに、図形の構成の仕方を考察したり、図形の面積や体積を求めたりする力を身に付ける必要がある。

小規模校の特長を活かし、低中高学年チーム制、教科担任制を取り入れ、担任だけでなく、複数の教員で個に応じたきめ細やかな指導を工夫していく必要がある。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和11年度の全国学力・学習状況調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 令和11年度の全国学力・学習状況調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和11年度の全国学力・学習状況調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、90%以上にする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに0.01ポイント以上向上させる。(令和7年度 男子1.00 女子1.02)

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- 令和 11 年度の教員の働き方改革に関する目標を「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 20 時間以下とする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 73%以上にする。
(令和 7 年度 72%)
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。(令和 7 年度 79%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、87%以上にする。(令和 7 年度 86%)
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに 0.01 ポイント向上させる。(令和 7 年度 男子 1.00 女子 1.02)

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 74%以上にする。(令和 7 年度 73%)
- 教員の働き方改革に関する目標を「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 20 時間以下とする。

3 中期目標及び本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立福小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。(令和7年度 72%)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(令和7年度 79%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【(1) 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>担任だけでなく、特別支援担任、教務主任、専科担当も加わった低中高学年のチーム制による教科担任制を導入し、多くの目で2学年の児童の指導に当たる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・学校アンケートにおける「学習や学校生活のことで相談できる先生が増えた」に対して肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【(1) 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>各学級で、いじめに関するアンケートを毎月末に実施する。些細なことも見逃さず、早期発見・早期解決を目指す。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・学校アンケートにおける「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【(2) 豊かな心の育成】</p> <p>たてわり班での異学年交流の機会を増やし、高学年のリーダー性を高め、自己肯定感を持てるようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・月2回以上たてわり班での児童集会を行う。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後期への改善点	

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、87%以上にする。(令和7年度 86%)</p> <p>○ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに0.01ポイント以上向上させる。(令和7年度 男子1.00 女子1.02)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【(4) 誰一人取り残さない学力の向上】 ICTを活用した話し合い活動の授業・活動研究を進める。</p> <hr/> <p>指標 ・ICT等の研修会を年1回、授業研究会を年3回以上実施する。</p>	
<p>取組内容②【(5) 健やかな体の育成】 体力向上週間や運動集会などを通して、たてわり班や学年で運動に親しめる取り組みを計画・実施する。</p> <hr/> <p>指標 ・体力向上週間や運動集会を企画し、年3回行う。</p>	
<p>取組内容③【(5) 健やかな体の育成】 ・給食集会や学校保健委員会などを通して、児童の規則正しい生活習慣が身に付くような指導を実施する。</p> <hr/> <p>指標 ・学校アンケートにおいて規則正しい生活を意識できていると肯定的に回答する児童の割合を70%以上維持する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後期への改善点	

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を74%以上にする。(令和7年度 73%)</p> <p>○ 教員の働き方改革に関する目標を「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【(6) 教育DXの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習者用端末を活用して自分の考えや意見を伝える活動を工夫する。 ・個別最適な学習（マス計算、コグトレ、タイピングなど）に取り組めるようにする。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週3回は学習者用端末を活用した学習活動を行う。 	
<p>取組内容②【(7) 人材の確保としなやかな組織作り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議・研修を計画的にバランスよく行事予定を設定していく。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりの日を週1回設定する。 	
<p>取組内容③【(7) 人材の確保としなやかな組織作り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議の運営を工夫し、短時間で出来るようにする。 ・前期後期制によって、教職員の業務量を減らし、児童と向き合う時間を増やす。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務時間を20時間未満にする。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>後期への改善点</p>	